

中干し後は間断かん水を行いましょう！ 「てんたかく」の白葉枯病防除は確実に実施！

<富山米総点検運動実証ほデータ(射水管内平均) 6月14日調査>

てんたかくは、前年より草丈は長く、茎数はやや多く、葉色は濃くなっています。
コシヒカリは、前年より草丈は短く、茎数は少ないですが、今後急激に増加すると見込まれます。

品種	年度	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉令	葉色	幼穂形成期
てんたかく (3ヶ所の平均値)	H23	5/2	36.2	496	9.6	5.2	(予想 7/2頃)
	前年(H22)	5/4	33.3	485	9.2	4.7	7/1
コシヒカリ (7ヶ所の平均値)	H23	5/14	28.0	242	7.8	4.4	近年値
	前年(H22)	5/15	30.5	300	7.9	4.3	7/14

1. 「コシヒカリ」の中干し

まだ実施していない人は**早急に実施**しましょう。

中干しと間断かん水で土を硬めましょう。
土の硬さの目安は、幼穂形成期に足が3cm沈むほどです。

2. 中干し後の間断かん水

中干し後は出穂まで、**1~2日湛水、3~4日落水の「間断かん水」**を行いましょう。

3. 「てんたかく」の葉色は さまさない

幼穂形成期までに、葉色 4.0より淡くなりそうな場合は、**BB 穂肥534**を7kg/10a程度施用しましょう。

4. 「てんたかく」の白葉枯病防除

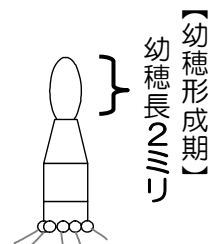
適期に**必ず実施**しましょう!!

散布時期	薬剤名	散布量	注意事項
出穂の3~4週間前 (6月25日頃)	オリゼメート 1キロ粒剤	1.0~1.3kg/10a	収穫 14 日前まで 散布後7日間湛水状態を保つ

5. 「てんたかく」の穂肥 (「基肥一発肥料」以外の場合)

幼穂長を確認し、適期に施用しましょう。

肥料名	1回目穂肥	2回目穂肥
BB 穂肥534	幼穂形成期 (7月2日頃)	1回目の10日後
	10 kg/10a	12 kg/10a



1株の中で最も葉の長い茎を抜いて、最下部付近の葉をむいてみてください。



畦畔等の一斉草刈実施で、カモムシ類一掃！斑点米撲滅！
草刈り運動期間は7月1~10日、一斉草刈日は7月2日(土)、3日(日)です。

作業が終わったら、生産履歴とGAPチェックシートを記入しましょう。

中干しの時期です。
速やかに行いましょう。

コシヒカリ